「ほら～言ったじゃん！」：結果論と言う偏見

結果論で物事を語る人があなたの周りにも居ませんか？

「私は違うと思っていた」「やっぱり、私の言う通りだったでしょ？」と言うように。

しかし、この世界で起こる多くの出来事は、振り返って見ると予想通りに見えがちな事は多けれど、出来事が起こる前は想像がつかない状態であった事が多い物です。

例えば２００８年の世界金融危機。振り返って見れば予知出来たと言う学者が多く居ますが、これも結果論と言う偏見から構成された論拠と言えるかもしれません。

「私だったらこうしてたのに」と失敗したプロジェクトの責任者に隠れてつぶやく事があったり、「そんな事したら、そうなると何で分からなかったの？」と罪を犯した子供に言うかもしれません。

しかし、そんな明瞭なあなたはその人の立場に居たら、本当に正解を導き出す事が出来ていたのでしょうか？

もし、自分の未来予知能力の凄さを回りにひけらかしたいのであれば、決断ノートを作りましょう。ビジネスのプロジェクトで大事な決断を迫られた時に、

１．現在の状況を記載し

２．どんな選択肢があって

３．決断によってどのような未来が起こると思うか？

４．決断に対する自信のレベル

などを決断ノートに記載してみてはいかがでしょうか？

ぜひ、コメント欄に私のこのチャンネルが成功するかどうか？と言う書き込みを理由を添えて投稿して頂けると幸いです。